

Z 値について

週刊東洋経済 9 月 27 日号の特集記事として「危ない会社ランキング」が掲載されています。利益率、資本効率、潜在リスク、財務、資金決済能力の各方面の健全性を自己資本利益率（ROE）以下七つの指標を用いて表し、これを Z 値と称して順位付けをしたものです。

当社の平成 14 年度の Z 値は 6.38 で鉄鋼部門のワースト 2 位となっており、皆様を驚かせたかも知れませんが、これは年金基金脱退に伴う一時的な現象であり、平成 15 年度はプラスに 13.01 ポイント改善して 6.63 となり、健全化致します。

ご存知のように、当社は東京都鉄二厚生年金基金の財政状態、資産運用状況に鑑み、平成 15 年 3 月に同基金より脱退致しました。

脱退に伴い、当社分として 22.3 億円、グループ全体では 25 億円の一括拠出金が発生し、これを特別損失として処理したため、経常段階では 997 百万円（個別では 784 百万円）の利益を計上しましたが、1,161 百万円（個別 1,089 百万円）の当期損失計上のやむなきに至りました。

Z 値は自己資本利益率に最もウェイトをかけているため、当期損失計上が大きくマイナス面に効き、この様な結果となったものです。

平成 15 年度の損益状況は、不動産の売却益 10 億円と事業収益で当期利益として 11 億円（個別 9 億円）が見込まれ、前年度の損失を一掃する予定です。

Z 値を前年度と比較しますと、最もウェイトの高い自己資本利益率だけの指標で 12.89 改善の見込みであり、ワーストランキング 1000 社から外れる見通しです。

以上